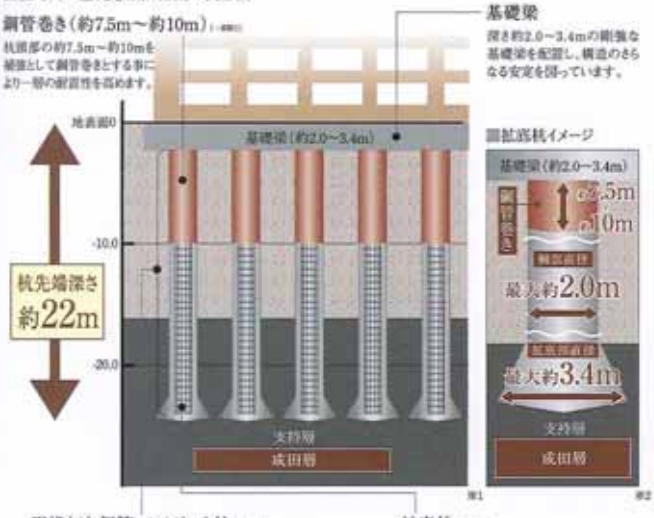
万一の地震にも配慮した、安心の構造・設計。

耐震性を高める基礎と杭

14階建ての高層な建物を支持するため、マンションの基礎部分の構造は、耐震性を高めて強固な地盤まで打ち込む、杭先端深さ約22mの杭を採用しています。



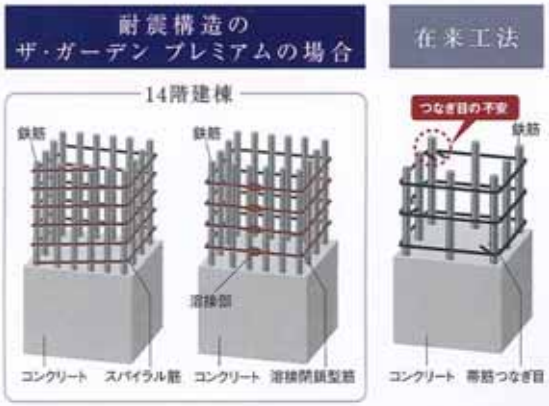
TOPICS

見ためには、どこも同じ様な地盤でも、その地歴や地層構成、また埋め立て地か、昔からの大地なのか等々により、地表から支持地盤までの深さはまちまちです。しかし『ザ・ガーデン プレミアム』では約17mで支持層に到達するため安心な地盤と考えられます。

※1概念図はイメージです。杭先端深さは、杭の位置によって異なります。
※2概念図はイメージです。これらの数値等はあくまで設計段階のものです。実際とは異なる場合があります。

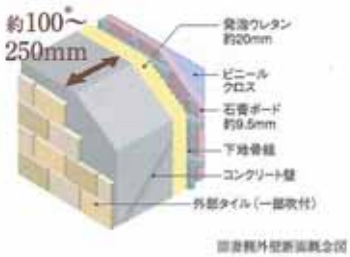
粘り強さが耐震性のもうひとつの鍵。

建物を支える柱部分には、帯筋をつなぎ目なく、らせん状に巻くスパイラル筋やつなぎ目を工場で溶接する溶接閉鎖型筋などを採用。揺れに対して粘り強い構造を実現しています。

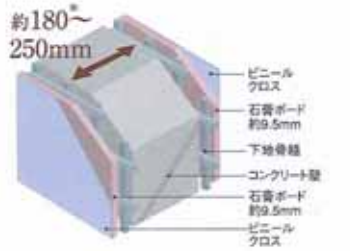


外部、お隣りの音に配慮した壁構造。

妻側外壁は約100～250mm、戸境壁は約180～250mmの厚さを確保。外部からの騒音や隣接住戸からの生活音の伝わりを抑制し、快適な暮らしを守ります。



妻側外壁断面概念図

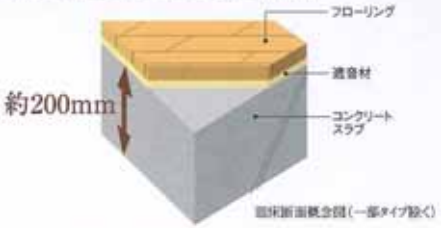


戸境壁断面概念図
※構造によっては、寸法が異なります。

遮音等級LL-45*のフローリングを採用。

階下への生活音の伝達を軽減するために、床のスラブは約200mm（水廻り、玄関踏込み、最上下階を除く）の厚さを確保。床材は遮音等級LL-45*の遮音性の高い仕様としています。

※製品の性能を示すものであり、実際の遮音レベルを保証するものではありません。



床断面概念図（一部タイプ除く）

国土交通省が認定する住宅性能表示制度を採用。

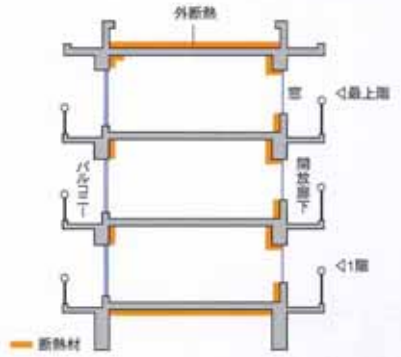
国土交通省が指定する第三者機関が、構造の安定性・火災時の安全性・耐久性・光環境などへの配慮を設計段階で判定。基準に適合している場合に「設計住宅性能評価書」が交付されます。さらに施工プロセスならびに完成段階の検査を経て基準に適合している場合に「建設住宅性能評価書」が交付されます。「ザ・ガーデン プレミアム」は、「設計住宅性能評価書」を取得。また建物完成後に「建設住宅性能評価書」も取得予定です。

設計性能評価

建設性能評価 取得予定

断熱の工夫。

外気に接する壁や天井などに断熱材を施し、外気の影響を受けずに、カビの原因ともなる結露の防止に努めています。気密性に優れた構造だからこその工夫です。



断熱範囲概念図

共用は耐久性に優れた設備配管を実現したサップス工法。

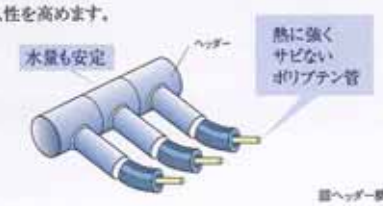
共用部の給水配管には従来の配管の素材である鋼管に比べて耐用年数が長いステンレス管を採用。サビにくいのでクリーンな水を長期間維持することも可能になります。



※参考写真

室内は耐久性に優れたポリブデン管を使用した保温ヘッダー方式。

室内の給水・給湯用配管には、熱や腐食に強いポリブデン管を使用した保温ヘッダー方式を採用。給水・給湯管の耐久性を高めます。



ヘッダー概念図

健康に配慮した低ホルマリンの内装材と接着剤。

ホルムアルデヒドなどの化学物質により、目がチカチカしたり、独特の刺激臭を感じるなど、新築の住まいでおこりがちな問題がマスコミでも取り上げられています。ザ・ガーデン プレミアムでは、壁と天井のクロス用接着剤にゼロホルマリン級、フローリングや他の内装材や接着剤に低ホルマリンタイプを使用。ホルムアルデヒドの発生を抑えることで、健康的で居心地のよい室内環境づくりに配慮しました。

全ての家族の快適性を考慮したバリアフリー設計。

お年寄りの方や子供たちの立場から住空間のプランニングを実施。フラットフロア設計により、畳とフローリング床との間の段差を解消し、住戸内での転倒事故を防止。また、浴室は浴槽をまたぐ部分を低くし、出入り口の段差を抑えた低床型ユニットバス。さらに、浴室での移動をサポートする手摺、住戸内の廊下には手摺取付け用の下地も施されています。